

別紙2(関連団体資料/理窓会関連団体規程第4条)

(注) この資料は関連団体資料(個人メールアドレスを除く)として公開します。

この資料のほか、写真などを加える場合は、PDF 3頁まで関連団体資料といたします。

なお、この資料は、関連団体登録資料として保管しますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

関連団体資料

(理窓会関連団体規程第4条)

(2021 年度)

団体名称	2. 東京理科大学理窓教育会		創立	1991 年	
代表者	富岡 康夫	団体内役職 会長	卒業	1973 年	理学部 化学科
事務局	松原 秀成	団体内役職 総務理事	卒業	1970 年	理学部 物理学科
送付物の際 事務局住所					
会員	400 名	会員構成 全国小学校・中学校・高等学校の教員			
執行部	名称 例.役員会	役員・理事会	5 回/年	定期総会	1年ごと 不定期 無
	執行部構成 例.会長のほか副会長等				
会費等	円/年	年会費1,500円			
会報等	回/年	年2回発行			
備考					
団体活動報告	(基本方針) 全国の同窓教員は都道府県単位で組織されて、交流や活動を進められてきたが平成3年4月に現職教員の研修、交流・情報交換の組織として「東京理科大学教育会」を設立し、全国組織とした。その後、平成16年に「東京理科大学理窓教育会」と名称を変更した。今日的教育課題などの研修、各地区教育委員会の諸施策など、同窓教員のネットワークを図り、情報交換や学び合いを継続し、若手教員の育成に努め活性化を目指している。				
	(2021年度活動状況) 継続しているコロナ禍の中、活動に苦慮しているが本会では例年、書面総会を行っている。本部理事会役員会は全てZoom会議を開催することができた。活動が滞る中において、Zoom会議で「若手教員ネットワークの会幹事会」を2021年8月11日に開催した。若手の会幹事12名と先輩会員13名が参加し、情報交換を行った。また、大学主催で第12回「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」の開催に際しては、理窓教育会員42名が審査委員を務めオンライン発表会に大きく寄与した。				
	(2022年度活動計画)本年度もコロナ禍が予想される中ではあるが、重点として以下の通りである。 ・会報の発行2回 (59号・60号) ・若手教員ネットワークの会の継続化 ・第13回「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」への協力 ・管理職研修会・新規採用教員予定者の激励会の開催 (コロナ禍で開催は未定) ・大学との連携など				